

診療局：放射線科

—スタッフ紹介—

役 職	スタッフ名
部長兼中央放射線部長 兼放射線治療センター長	稲場 文隆
医長	中田 耕平
非常勤医師	足立 至
非常勤医師	堀 篤史

—概要—

当科では一般撮影検査、マンモグラフィー、消化管造影検査、X線CT検査、磁気共鳴断層(MRI)検査、血管造影検査、核医学(RI)検査など画像診断全般を行っている。また、IVR(Intervental Radiology)も行っている。

近隣の医療機関からの依頼に対しては、CD-Rあるいはフィルムにて画像出力を行い、所見とともに返信している。

常勤医2名と非常勤医2名で診療、診断を担当している。診断医はすべて放射線診断専門医である。

1997年10月に当センターが開院して21年が経過し、多くの放射線診療機器が更新の時期を迎えつつある。今年度は乳腺撮影装置が最新の機種に更新され、2019年2月中旬より稼働している。また、2019年3月下旬よりCTの1台が最新の機種に更新され稼働している。

【機器構成】

一般撮影装置	4台
乳房撮影装置	1台
X線テレビ装置	3台
骨塩定量装置	1台
CT撮影装置	2台 (80列、64列)
MRI検査装置	2台 (3T、1.5T)
血管撮影装置	2台 (パイプライン、IVR-CT)
核医学検査装置	1台 (SPECT)

【放射線科関連情報システム】

放射線情報システム(RIS) (富士フィルム)
統合画像管理システム(PACS) (横河医療ソリューションズ)
放射線レポート管理・配信システム (横河医療ソリューションズ)
ネットワーク型3次元画像処理システム(ZIO)

—実績—

読影総件数は、28,006件であった。

	2018年			2019年	計
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	
CT	3,865	3,960	3,882	3,634	15,341
MR	1,597	1,483	1,511	1,439	6,030
IVR・血管造影	15	8	6	6	35
単純(除く乳腺)	388	373	335	191	1,287
乳腺	292	323	282	235	1,132
RI	421	310	283	284	1,298
他院読影	768	725	703	687	2,883
計	7,346	7,182	7,002	6,476	28,006

—今年度の成果と反省点—

当科医師は常勤医師2人体制で、診療規模に比べて人員不足であることは否めなく、様々な問題点を認識しつつも改善できていない。

—来年度への抱負—

地域中核病院の中央診断部門の主科として、標準的な診療を提供できるよう努めていきたい。